

# 石油缶(18ℓ缶)のまま処理できる 溶剤回収装置・型式ASF-18型

当装置は洗浄、塗装等の工程等で汚れた溶剤を、石油缶(18ℓ缶)に入れたまま蒸溜して、新品同様に回収します。又、廃溶剤中の樹脂、顔料等は廃棄しやすい半固形になり、石油缶(18ℓ缶)のまま取り出し処理出来ます。

石油缶(18ℓ缶)の当装置への出し入れは、蒸溜缶上面蓋の開閉で簡単に出来ますので、取り扱いは大変便利です。



## ☆特 徴

- 作業が楽：石油缶(18ℓ缶)のまま回収・処理出来るので便利です。
- 出し入れが簡単：石油缶(18ℓ缶)の装置への出し入れは上面蓋の開閉で簡単にできます。
- 掃除が簡単：廃溶剤が缶底で固型化するので掃除の手間がかかりません。
- 無公害：使用済みの溶剤を無公害に再生します。
- 焦げつかない：オイルバス式のため廃液の焦げつきはありません。
- 操作が簡単：回収操作は石油缶(18ℓ缶)を入れ、温度・タイマーをセットするだけでOKです。
- コストダウン：新品溶剤の購入費・廃棄物処理委託費が大幅に減少します。
- 事故の防止：廃溶剤保管中の事故原因、悪臭、火災原因が避けられます。

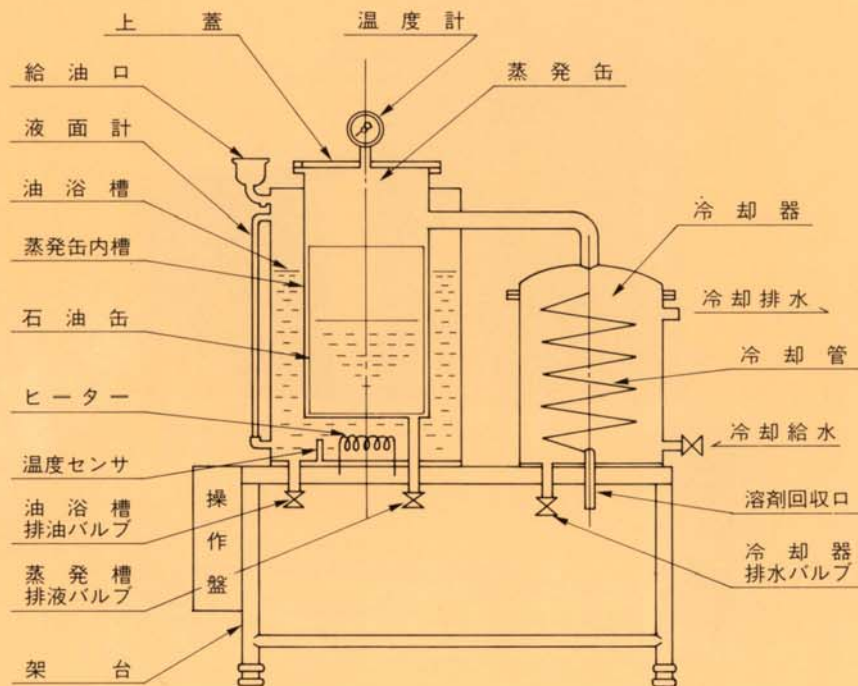
## ☆適用溶剤例 (ただし、防爆型ではありません。)

フロン・塩化メチレン・トリクレン・パークロエチレン・トリクロルエタン・アルコール類・トルエン・キシレン・ベンゼン等、沸点150℃までの溶剤。

# 石油缶(18ℓ缶)のまま処理できる 溶剤回収装置・型式ASF-18型

## ☆構造

蒸発缶・冷却器・架台より構成されています。ヒーターにより加熱されたオイルの熱伝導により、蒸発缶内槽の石油缶(18ℓ缶)中の廃溶剤が開口部より蒸発します。蒸発した溶剤は冷却器の中の冷却管を通る時に冷却水により凝縮され液化し、新品同様の溶剤となり、溶剤回収口より回収されます。又、廃溶剤中のスラッジ分等は固形、半固形化し石油缶(18ℓ缶)内に残ります。



## ☆標準仕様

- 品名：溶剤回収装置
- 型式：ASF-18型
- 外形寸法：約W.1000㎜×D.410㎜×H.1075㎜
- 装置重量：約80kg
- 材質：蒸発缶内槽・外装、冷却器、冷却管、SUS-304製。架台、鋼製焼き付け塗装
- 電源電圧：AC.100V、単相、50/60Hz
- ヒーター：AC.100V、1.5kW  
プラグ型シーズヒーター
- 温度調節器：デジタル温度指示型
- タイマー：デジタル型
- 安全装置：過温度防止装置・漏電ブレーカー
- 仕込方式：石油缶出し入れ方式
- 冷却方式：5～10ℓ/min.程度の流水による水冷冷却方式
- 加熱方式：オイルバスによる間接電気加熱
- 最高温度：200℃  
(ただし、溶剤の沸点は150℃程度まで)
- 熱媒体油量：約11ℓ
- 処理能力：回収率80～90%  
5～10時間  
(溶剤の性状により変動あり)



株式会社 清水理化学機器製作所

本社工場 東京都文京区根津2丁目22番11号  
 草加工場 埼玉県草加市栄町1丁目1番8号  
 営業所 東京都文京区根津2丁目24番6号  
 〒113 電話 03(3822)1251(代)  
 FAX 03(3823)3605